

Nozomi-Planningレポート

令和2年8月号 Vol.164



撮影地 大阪府下の大型ホームセンター
「休息」 撮影者 中尾 恭之

●今月のTOPICS●

【労基・人事労務・労務管理】

- ・新型コロナウイルス感染症に関連した雇用保険の特例
- ・社会保険の適用拡大等が盛り込まれた年金制度の改正
- ・見直しておきたい自転車通勤等の取扱い
- ・高齢労働者が安心・安全に働ける職場環境づくりとその支援のための補助金

【その他情報】

- ・春・夏・冬のはなし Vol.116
- ・今月の書籍紹介
「怒らない技術」
- ・7月の税務と労務の手続き
[提出先・納付先]

のぞみプランニングは「人」に関わるエキスパートとして、人事・労務管理のサポートを通じてお客様の成長・発展に寄与し、そこで働く全ての従業員様・ご家族様・お客様の満足度向上を応援する社会保険労務士を中心とした労務コンサルティング会社です。
お客様と共に私たちも成長・発展し、喜びを分かちあい、心を結び合えるよう努めています。

【発行元】 合同会社/社労士法人のぞみプランニング
〒530-001 大阪市北区芝田1丁目4-17-5F
TEL(06)6377-6177 FAX(050)3488-0145

【企画・編集】 合同会社/社労士法人のぞみプランニング
〒530-001 大阪市北区芝田1丁目4-17-5F
TEL(06)6377-6177 FAX(050)3488-0145
理念：「共に学び、共に育み、共に分かち合う」
<http://www.nozomiplanning.com/>



Vol.116 八崎さんの

春・夏・冬のはなし



—先入観と Brain Storming—

人は遺伝子や生いたちも、また受けてきた教育や家族、社会環境…などすべてが異なり十人十色、先入観や固定観念が根ざす自分なりの色めがねをかけて生きているといわれる。

ライオンズクラブの活動は、7月にスタートして翌年6月に1期を終えるのだが、次期の事業は何をするかについて、選任されたメンバーが検討し、その結果を全員に提案するのが習わしである。メンバーは、企業のような職位による上下関係は全くなく皆んな平等なのだが、ともすれば年齢やクラブ歴を意識して、過去先輩達が行ってきた事業に No を告げることに躊躇し、既存事業の踏襲に終わる傾向が強かった。

次期事業検討委員会のチェアマンになった私は、各人が色めがねを一度はずし、各々の意見に一切の批判、否定することができない Brain Storming (以下 B・S) で話を進めることにし、先ず“先入観”についての4話でリラックスすることを考えた。

その1…**鮪(かます)の実験** —3種の絵を用意。

① 水槽の真中を透明のガラスで区切り、片方に魚の中でも特に鋭い歯を持つ鮪を入れ、もう一方に餌となるミジンコを。②5日後の絵はガラス板を取り除き、鮪とミジンコが混ざり合っている。③更に5日後、鮪は皆んな飢え死に、水面に浮かんでいる。

もうお解かりだろう。餌を食べようと突進する度に食べられず、口先を痛めた経験から、目の前にミジンコがあっても二度と食べようとせず。その揚句餓死。

その2…**エレファント・シンドローム**。直訳すれば“象症候群”。象を太い柱につないでおくと、暴れても逃げられないことを悟る。賢い象になり“学習効果(思い込み)”が現われた象は、3日もすると細い棒につなぐだけで、もはや逃げようとしない。先の鮪と同じように、状況(環境)の変化までは悟り得ず。

その3…**ボイルド・フロッグ**—“ゆで蛙(理論)” — 熱い湯に放り込まれた蛙は、驚いて蛙跳びで外へ。しかしぬるま湯に浸っている蛙は、下から熱せられている状況の変化に気付かず、やがてゆで蛙に。一ぬるま湯社員への警鐘として、教育の場で使われたり、“農協(業)改革”が叫ばれていた頃には、世の識者達がよく引用していた。

その4…**Top Salesman 共通の資質・特長とは?**— アメリカでの話である。企業研修を行っているインストラクターの集まりで、Top Salesman に共通する資質は何か?が話題になり、B・Sでその条件を出し合った。何十項目の中にはこんなことまで?と思うような“特長”が含まれている。…自社製品を熟知している、顧客との約束は必ず守る、誠実である、ネクタイはストライプ、ハンサムである、午前・午後の2回ひげを剃る(無精ひげは×)…等々。アメリカを代表する大手企業から選ばれた Top Salesman にこれを当てはめていくと多くは Yes, Yes…しかし必ず No!の項目があり、すべてに Yes の人は1人も居なかった。何かある筈だと更に議論を重ねた結果、全員に共通していたのは“好かれる”だったという。

さてこんな話をしたあと、本題の次期事業について各メンバーに思うがまゝを挙げてもらった。昨年入会したばかりの新しいメンバーも種々提案、中にはクラブの本旨にそぐわない事業も含まれていたが、それらは後程の個々の検証の際に説明すれば良いことで、B・Sを終了。

長年に亘って実施してきた事業を打ち切るというのは、相手もあることで大変勇気の要る決断だが、すぐには無理でも1年後には…とメンバー全員がそんな共通認識を持てた会であった。

こうして新期7月を迎えた。しかしコロナウィルスの影響で思うがまゝの行動はとれず、実現できそうなのは施設の子供達を小豆島の海に連れて行くバス旅行。

唯一、夏の贈り物になるのだろうか。

筆者紹介：八崎輝義 日本チバガイギー社(現ノバルティスファーマ)教育研修課長、取締役人事統括部長、京都薬科大学常任理事、現京薬会相談役。著書“今知っておきたいエイズ”、“京薬会の120年の軌跡”等執筆。



今月の書籍紹介～一押しの一冊をご紹介します～



『怒らない技術』

著者：嶋津 良智

(発行所 フォレスト出版株式会社 900円+税)

本書は、シリーズ累計 90 万部を突破したベストセラーです。著者は、28 歳で独立・起業し、代表取締役社長に就任して、実質 5 年で年商 52 億円の会社に育てあげました。現在は転身し、海外生活をしながら、かねてからの夢であった教育事業をスタートさせ、後進の育成に努めています。こうした成功は、すべて「怒らない」ことから始まったといいます。

著者は、以前はすぐカッとなるタイプだったが、社会人になり、部下を持つようになってから考え方が変わったのだそうです。そして、無駄な怒りに時間を浪費させないことが大事なのだ気がつきました。「怒らない」という習慣を身につけ、心や感情をコントロールできるようになったら、自然と人生が好転していったといいます。

日々の生活を送っていれば、他人の言動や行動にイライラしてしまうことも多くあります。しかし、他人を変えることはできませんが、自身の感情は意識すれば変えられます。本書では、イチローさんや中田英寿さんなどのスポーツ選手をはじめ、本田宗一郎さんや松下幸之助さんなど、数々の成功者の名言を例に挙げ、感情をコントロールする必要性を説いています。読み進むうちに、不毛な怒りに振りまわされないような在り方が自然とわかってくると思います。本書の後半は、いかに怒らないための環境づくりをするのか、怒ってしまったら怒りをどう消すのか、すぐに始められる習慣が紹介されているので、ぜひ参考にしてみてください。

『怒り・イライラと無縁になる 25 の習慣』のうち「イライラ」を感じなくなる 18 習慣」を列記します。

- (1) 迷ったら、決断しない
- (2) 自分の欠点を利用する
- (3) 常に最悪の事態を考えておく
- (4) 何よりも準備に重きを
- (5) 自信がないので仕事も生活も分相応に
- (6) 目標はできるだけ低く設定する
- (7) 一人勝ちできる場所を見つける
- (8) 身の周りをきれいにしておく
- (9) 理想主義や完璧主義はやめる
- (10) 自分の問題か、相手の問題かはっきりさせる
- (11) 秘密を持たない
- (12) 大事なことはどんどん忘れる
- (13) すぐ聞くことでモヤモヤを解消する
- (14) イライラする環境に身を置かない
- (15) イライラするものから目を背ける
- (16) 一方的に話さない
- (17) 三合（さんあい）主義で生きる
- (18) 自信があることにはわがままに生きる

(執筆 江田 幸央)



<7月の税務と労務の手続[提出・納付先]>

11日

- 源泉徴収税額・住民税特別徴収税額の納付
[郵便局または銀行]
- 雇用保険被保険者資格取得届の提出<前月以降に採用した労働者がいる場合>
[公共職業安定所]

31日

- 個人事業税の納付<第1期分>
[郵便局または銀行]
- 個人の道府県民税・市町村民税の納付<第2期分> [郵便局または銀行]
- 健保・厚年保険料の納付 [郵便局または銀行]
- 健康保険印紙受払等報告書の提出
[年金事務所]
- 労働保険印紙保険料納付・納付計器使用状況報告書の提出
[公共職業安定所]
- 外国人雇用状況の届出(雇用保険の被保険者でない場合) <雇入れ・離職の翌月末日>
[公共職業安定所]
- 労働保険の今年度の概算保険料の申告と昨年度分の確定保険料の申告書の提出期限<年度更新> [労働基準監督署]

~ちょっとブレイク~



「自宅で犬と猫を飼っているなのでその写真を使おうと思ったのですが、残念ながら(?)こちらを選択。大型ホームセンターには必ずペットショップが併設されていますが、ほとんどは1頭ずつ展示されています。これを撮影したお店は一部複数頭を同じスペースで展示しており、特にこの子達の姿が目に残りました。この姿ですから、当然お値段は手が出るものではありませんでしたが…。良い飼い主さんに恵まれることを願います。」

撮影者 中尾 恭之

当事務所より一言

本来でしたら夏休みに入り、高校野球に沸く甲子園、夏休みを利用した旅行、お盆の帰省と夏の風物詩が今年は様相が異なります。さらに先月の7月豪雨と気候も例年とは異なり数十年に一度という豪雨に見舞われています。被災された方々には心よりお悔やみ申し上げます。また今後も、野菜の高騰など日常生活への更なる影響も心配されます。

ここで突然ですが、102兆円とはどのような金額でしょうか。ご存知の方も多いと思いますが令和2年度当初予算規模です。それでは、90兆円は如何でしょうか。答えは令和2年度当初予算と2回の補正予算のうち公債金(国の借金)で賄われた金額です。今年度はすでに新型コロナ対策として2回の補正予算が生まれ借金で賄われています。今後、更なる新型コロナ対策や低迷する経済対策等で追加の補正予算も考えられます。その場合の歳入はすべて借金となります。

一方で今年は働き方改革の年でもあるはずでした。新型コロナ対策として急遽テレワーク・時差出勤等を実施し、検証できる機会も得られたのではないのでしょうか。今回の新型コロナ対策を機に、働き方は一気に変化する様相を示しています。今後は試行錯誤をしながら、ワークライフバランスと生産性の向上を目指した働き方の大きな改革が進んでいくことでしょう。

今月も手軽に最新情報をお読み頂けるのぞみプランニングレポートをお届けします。

弊社は、「誠実・迅速・熱意」をモットーに、事業主の皆様の労務管理・人事管理のお役に立てるよう日々、東へ西へと奔走しております。「働き方改革への対応」、「組織活性化支援」「社会保険・給与計算」等、お気軽にご相談ください。

今月ものぞみプランニングレポートをお届けできることを嬉しく思います。皆様との「出会い」「ご縁」「絆」に心より感謝申し上げます。

b y 坪内 直樹

